



居宅介護支援事業所

介護屋みらい

介護の「みらい」話 よもやま話



〈介護屋 宮崎〉
代表取締役社長
宮崎 直樹

みなさんこんにちは。2020年には東京オリンピックが控えています。その5年後には2025年問題と言われる、少子高齢化問題の大きな一つ目の山を迎えようとしています。

2025年問題とは団塊の世代の皆さまが75歳以上になられます。自分としては表現に問題もあるかと思うのですが、75歳以上の方は後期高齢者と言われてます。この後期高齢者の方の4人に1人は何かしらの支援や介護が必要となっています。認知症も同様に軽度から重度を含めて、後期高

支え合う地域づくりを目指す 認知症サポーターの輪

齢者の4人に1人は認知症と言われています。

これからの超高齢社会において、みなさまが、そして街全体が認知症の方とどのように向き合うか？どのようにして向き合うための知識を身に着けるのか？が非常に大きな課題となります。

「認知症サポーター」

特別なことをするのではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る人の事です。

認知症サポーターになるには認知症サポーター養成講座という1時間から1時間30分程度の講座を受講して頂くと、オンラインングを授与して頂き、認知症サポーターとなれます。講座は市区町村が開催したり、民間団体等も含めた様々な団体がいたるところで開催をしています。

平成28年度の養成講座は4万4844回の開催があり、131万

2085名の方が新たに認知症サポーターとなりました。

平成17年度からですと、869万789名の方が認知症サポーターとなっています。

介護屋みらいでも市民の皆さまに向けて養成講座を開催した事もあります。そして今回は小学校に出向きまして、サポーター養成講座を開催してまいりました。

小学校3年生に45分授業の中で認知症についてと、対応の仕方についてまでの内容でしたが、難しい事は伝えませんでした。核家族化が進む中でおじいちゃんやおばあちゃんとの交流の機会も減っている状態なので、少しでも分かり易く伝えました。



私の望みとしては、この授業を受けたその日の晩御飯での家族の会話に少しだけでも、おじいちゃんやおばあちゃんの会話が出てほしいと願って授業を行いました。自分の家族の事を考える時間が少しでも増えれば、それだけ安心して暮らせる街になる可能性が高まり、一歩前進します。

私は現在40歳です。40歳の私たち世代は老後の不安を抱えている方が多いと思います。私たちの世代が心配を抱えていたら、今の子どもたちはどれほどの不安を抱えて生活する事になるでしょうか。支え合う地域をつくる為にも、認知症サポーターは必要不可欠であると考えます。



ケアマネ介護のお悩み相談会

現場で頑張る
あなたの
お悩みは？

仕事内容

勤務時間

給料

続けられる？

将来

どこまで
関われば
いいの？

8/29火

10時～11時

会場 / 介護屋みらい
(右記参照▶)

定員 / 3人

相談会申込は

☎047-404-2660



年間1300人のケアマネに講演する宮崎代表がマンツーマンであなたの介護の悩みを聞きます！

講演実績 「ストレスを貯めず、効率よく仕事する方法」
～段取り8割、実行2割～



居宅介護支援事業所

介護屋みらい

住 船橋市業円台 4-16-4-202

☎ 047-404-2660

